

事務事業名	県単ため池安全確保事業	所属部	農林振興部	所属課	農林土木課	
総合計画体系	政策名	〈V〉挑戦し活力を産みだすまち〈産業〉	所属G	農林道G	課長名	細木 浩之
	施策名	〈36〉農業の振興	担当者名	山本 大策	電話番号	0854-40-1053
	目的	市内の農家	意図	安全・安心な農産物を生産するとともに、農業所得が向上する。	(内線)	2402
	基本事業名	〈108〉農業基盤の保全	予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0:1:3:0:0:2 項 目 中事業 中事業名 0:5:5:5:1:5	土地改良事業	
目的	担い手農家・担い手以外農家	意図	農業の生産性を維持・向上できるようにする。	県単ため池安全確保事業		

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H25 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
国庫補助事業要件に当たらないが老朽度合いが高い危険なため池について、県単補助事業制度を活用し、ため池の改修を行う。 (改修内容:ため池の堤体、洪水吐、取水施設等、老朽箇所の応急整備や堤防の切り下げ、ため池の廃止等)
採択要件は 国庫補助事業の要件を満たさない整備事業費は1,000千円以上 貯水量が300m3以上のため池 想定被害が、家屋、国・県・市道、河川、公共施設等におよぶもの
補助率は 県 67% 市町村 32% 農家負担 1%

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	30年度実績(30年度に行った主な活動) 工事施行 大東町西阿用池内 吉田地区(繰越分) 現地確認 実施測量 三刀屋町根別所池内 桜ヶ廻地区→国庫補助 農業水路等長寿命化・防災減災事業へ移行 加茂町南加茂池内 奥会下地区→国庫補助農業水路等長寿命化・防災減災事業へ移行	元年度計画(元年度に計画する主な活動) R元年度は、計画無し。 国庫補助に該当するため池改修は、農業水路等長寿命化・防災減災事業へ移行。国庫補助にのらないため池改修について、引き続き県単ため池安全確保事業にて対応することは可能。				
	② 活動指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)
	ア 事業費	千円	7,258	15,980	5,730	0
	イ					
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)
	雲南市内の老朽化したため池	ア 調査ため池	箇所	1	4	0	0
		イ 改修ため池	箇所	1	3	1	0
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)	
ため池決壊などによる被害の未然防止を図ることができ、ため池下流域での安全・安心が確保される。	ア 改修済みため池	箇所	1	3	1	0	
	イ						
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳(30年度決算)		② コストの推移					
ため池改修1箇所(H29繰越分) 工事費 5,730千円 計 5,730千円	事業費内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円	4,824	10,551	3,787	0
		地方債	千円	2,300	5,200	1,800	0
		その他	千円	72	147	68	0
		一般財源	千円	62	82	75	0
	事業費計(A)	千円	7,258	15,980	5,730		
	人件費		正規職員従事人数	人	1	1	1
		延べ業務時間	時間	50	100	100	
		人件費計(B)	千円	198	408	433	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	7,456	16,388	6,163	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
県内5004カ所の農業用ため池のうち、250箇所の整備済みを除き、老朽化が進んでいる。そのハード対策として25年度に新規創設された補助金事業である。	特になし。	近年ため池管理者の高齢化により、適切な維持管理が行われることが少なくなったこともあり、ため池の老朽化が進行し、災害発生の危険性が高まっている。

事務事業名	県単ため池安全確保事業	所属部	農林振興部	所属課	農林土木課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている *余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である *余地がある場合⇒	
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	県制度の基準に基づく計画及び改修をしており向上の余地はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない		
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有		
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある *ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名)	国庫補助事業の対象とならない危険ため池の改修事業はこれのみである。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない		
D 公平性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	受益者負担があることから、負担可能な範囲での事業費決定としている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
D 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	地元調整や現場管理を考慮すれば削減の余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	現地を確認したうえでの緊急性を考慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		
評価の 総括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下		×	×
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持	●	×																	
低下		×	×																	
	今後も同様に適正な執行に努める。																			